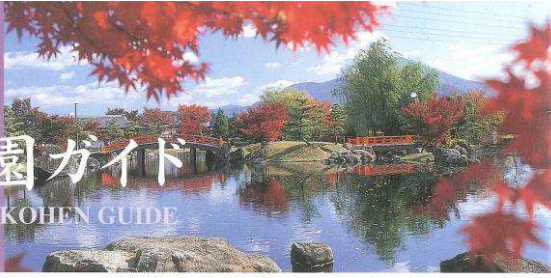


紫式部公園ガイド

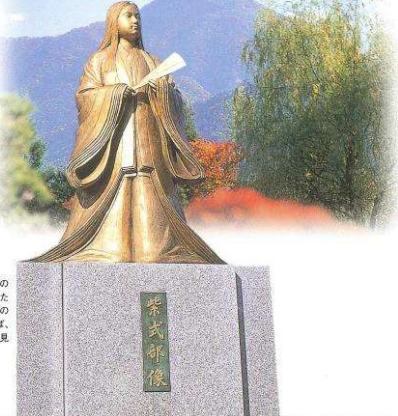
MURASAKI SHIKIBU KOHEN GUIDE



霊峰・日野山を借景に池や築山を配し
平安時代の庭園を再現した全国で唯一の寝殿造庭園。

紫式部が越前国司に任ぜられた父とともに越前市を訪れたのは長徳2年(996)のこと。都に住む女性が地方で暮らすことなど、ほとんどなかった当時北陸の冬を体験したり、敦賀の松原客館に滞在する宋人を通じて先進的な大陸の文化に直接触れたことは紫式部に大きな影響を与えたと考えられています。

そんな紫式部をしのんで、この公園がつけられました。平安時代の貴族の住居(寝殿造)を模した3000坪という広大な敷地に霊峰・日野山をはじめ武生盆地を囲む山々を借景に池や築山を配置しました。全国で唯一の寝殿造庭園で、雅やかな雰囲気が漂います。園内には、谷崎潤一郎や円地文子など源氏物語にゆかりのある著名な文学者の揮毫による歌碑があります。



■紫式部像
金色に輝く紫式部像は、文化勲章受章者の彫刻師三氏が制作したもの。彫刻で実しかつたといわれる紫式部の細部がうかがえます。都の方を向いて立つ式部像の視線の先をたどれば、すっきりとした校線を描く日野山。ここから見る日野山は特に美しいといわれています。



紫式部歌碑

紫式部公園の藤棚

みごろ 5月上旬

連絡先 (一社)越前市観光協会

0778-23-8900



紫蘭街道

みごろ 5月中下旬

連絡先 南地区自治振興会

0778-23-5103

